

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春に	3	●言葉の中の春を読む。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
握手(補充教材)	10	●それぞれの場面での握手に込められた思いを読み取る。 ●文章を読み、そこに表れているものの見方や考え方について考える。 ●登場人物の言葉に注目し、人物像や心情の変化をとらえる。	自分の生き方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ	「読むこと」において、文章を読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間関係について、自分の意見をもっている。C(1)エ	粘り強く、文章の展開を捉えたり言葉の意味を文脈から理解したりするとともに、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
メディア・リテラシーはなぜ必要か？／新聞が伝える情報を考える	3	●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。	情報の信頼性の確かめ方を理解使っている。(2)イ	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	1	●漢字の音の歴史についての理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
AIは哲学できるか	3	●「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。
文法 活用のない自立語 名詞・副詞・連体詞・接続詞 感動詞	5	●名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞のはたらきについて理解する。	名詞・副詞連体詞・接続詞・感動詞などはたらきについて理解している。2年(1)オ		積極的に活用のない自立語に興味・関心を抱き、粘り強く理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
法隆寺を作った木(補充教材)	1	●文章から必要な内容を読み取り、要約して適切に表現する。	読むことにおいて条件に応じて要約文を作成する際に、必要な内容を判断し、過不足なく抜き出すことができている。	「書くこと」において要約した内容を整理し、適切に文章化できる。	粘り強く分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそってまとまりある文章にしようとしている。

俳句の味わい	3	●熟字訓についての理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
漢字の広場2 熟字訓	1	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		繰り返し学年別担当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
旅への思い	7	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
風景と心情	5	●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア	「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
故郷	10	●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。
和歌の調べ	6	●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
【書く】 自己PR文を書く	2	●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。
文法 活用のない単語 助動詞	4	●助動詞のはたらきについて理解する。	助動詞などのはたらきについて理解している。2年(1)オ		積極的に助動詞に興味・関心を抱き、助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
文法 活用のない単語 助詞	4	●助詞のはたらきについて理解する。	助詞などのはたらきについて理解している。2年(1)オ		積極的に助詞に興味・関心を抱き、助詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。
漢字の広場4 四字熟語	1	●四字熟語についての理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		繰り返し学年別担当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。

金星大気の教えるもの(補充教材)	4	●筆者のものの見方や考え方をもとに、人間の果たすべき役割について自分の意見をまとめる。 ●文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解する。	論理の展開を表す言葉やキーワードとなる言葉の文脈上の意味をとらえている。	話し合いをとおして互いの考えを生かしながら、課題にbついでの考えを深めている。	筆者のものの見方や考え方に興味を持ち、自分の考えを適切にまとめようとしている。
素顔同盟	5	●主人公の抱いた仮面や周りの人に対する思いをとらえる。 ●場面や登場人物の設定、作品の構成や展開に着目し、作品を批評する。	自分の生き方や人とのかかわり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)才	作品のテーマに沿って表現された描写から主人公の心情の変化をとらえることができる。	作品を読んで、適切に批評し、文章を書くようしている。
三十五億年の命	4	●筆者のものの見方や考え方をもとに、人間の果たすべき役割について自分の意見をまとめる。 ●文章における論理の構成や展開、文脈における語句の効果的な使い方などを理解する。	論理の展開を表す言葉やキーワードとなる言葉の文脈上の意味をとらえている。	話し合いをとおして互いの考えを生かしながら、課題にbついでの考えを深めている。	筆者のものの見方や考え方に興味を持ち、自分の考えを適切にまとめようとしている。
百人一首	4	●日本の伝統文化である百人一首に親しむ。 ●和歌から古人の物の考え方、感じ方を読み取る。	歴史的仮名遣いや和歌の技法について理解している。	/	百人一首の競技法に則って、進んで取り組もうとする姿勢がある。 百人一首に収められた歌に興味をもち、エピソードや技法を学ぼうとする姿勢がある。
聞き取りテスト (年間で複数回に分けて実施)	2	●シチュエーションの異なる放送内容から必要な事項を聞き取り、適切に解答することができる。			放送内容から必要な情報や知識を取捨選択して聞き取ることができる。 聞き取った内容を質問に応じた答えを文章化することができる。

教科		国語 書写		学年	3学年		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準				
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
硬筆 字形を整えて漢字を書く。	2	漢字の線や画のバランス、とめ、はね、はらいを理解して整った漢字を書くことができる。	漢字ごとの線、画のバランスや、とめ、はね、はらいの差異を理解することができる。			楷書と比較して点画の形や筆脈の特徴をとらえようとしている。	
硬筆 字形を整えて文章を視写する。	2	漢字と歴史的仮名遣いの混じった古典の文章を正確に視写できるようにする。	歴史的仮名遣いや漢文における訓読文と書き下し文の違いを理解している。	古典の文章(俳諧紀行文や漢詩)の特徴を考え、書くことにつなげることができる。		漢字と仮名(歴史的仮名遣い)の混ざった文の書き方を踏まえて「おくのほそ道」や漢詩を粘り強く、正確に視写しようとしている。	
学習を活かして書く	1	自らが作成した俳句や短歌をバランスよく用紙に書くことができる。	俳句や短歌の分ち書きの仕方や書体(楷書・行書・草書)の違いを理解することができる。	短冊用紙に作品を書く際に効果的な書き方を選択し、作品を仕上げている。		用紙上での文字の配置や書体について粘り強く検討し、自分の作品を効果的に仕上げようとしている。	
書き初めを書く	5	文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。	楷書や行書の筆使いや字形、文字の大きさを理解することができる。	点画の連続と配列の特徴をとらえ、仮名との調和を理解することができる。		楷書や行書の筆使いや字形、文字の大きさを理解して書こうとしている。	